

## 議題 1

### 第2次しろい健康プランの達成状況

第2次プランでは、計画全体に対するアウトカム指標としての「到達目標」のほか、位置づけている各計画の「重点的取り組み」や「めざそう値」を定めています。ここでは、それぞれの目標について、令和2年3月31日時点での達成状況等を評価し、今後の目標達成に向けた課題を把握しました。

#### (1) 到達目標の達成状況

厚生労働省の研究事業による「健康寿命の算定方法の指針」を参考に、市の健康寿命を算出したところ、平成29年10月1日現在で、第2次プラン策定時（平成25年10月1日）に比べて、男女とも0.8歳延伸しており、策定時に定めた平成30年の目標値を上回ることができました。

到達目標		健康寿命を延ばす		
策定時	現状値	策定時の目標値	達成状況	
平成25年10月1日 時点	平成29年10月1日 時点	平成30年10月1日 現在		
男性 79.9歳	男性 80.7歳	男性 80.4歳	達成	
女性 83.0歳	女性 83.8歳	女性 83.5歳	達成	

#### (2) 重点的取り組みの達成状況

第2次プランの計画期間内に、特に力を入れて取り組むために掲げた「重点的取り組み」については、一部目標値を達成できない項目もありましたが、3計画とも、総じて進捗させることができました。

#### <健康増進計画>

重点的取り組み 1	生活習慣病の発症や重症化を予防する取り組みの充実				
がん検診の更なる受診率の向上のため、検診未受診者に対する再勧奨を行います。					
事業計画：大腸がん検診未受診者に対する再勧奨による受診率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	10%	10%	15%	15%	15%
実績	8.2%	18.0%	30.3%	28.2%	—
受診者／再勧奨者（人数）	78/948* <sub>1</sub>	18/100* <sub>2</sub>	20/66	20/71	—

\*1 平成28年度の対象者は、41歳で前年度の大腸がん検診未受診者及び当該年度の大腸がん検診を申し込みしていない者としています。

\*2 平成29年度以降の対象者は、41歳で前年度大腸がん検診受診者及び当該年度の検診申込者のうち前半実施の検診未受診者としています。

<b>重点的取り組み2</b>	地域における支え合いや、地域での活動を通じた健康づくりなど、子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域社会づくりの推進				
健康は個人の努力だけでなく、個人を取り巻く環境にも大きく影響を受けることから、全体で9か所ある小学校区を単位として、地域のつながりを重視した健康づくりに取り組みます。					
事業計画：健康づくり講座を実施する地域					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	3か所	3か所	6か所	6か所	9か所
実績	0か所	0か所 <sup>*3</sup>	4か所	8か所	—

\*3 (仮称)梨トレ体操第2を媒体とした地域ぐるみでの健康づくりを計画していましたが、体操が未完成のため、平成30年度に向けて自治会等との関係づくりを行いました。

## <食育推進計画>

<b>重点的取り組み1</b>	生涯にわたるライフステージに応じた食育の推進				
生涯健康で過ごすためには、健康的な食習慣を身につけることが大切です。子どもから大人まで、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事がとれるように、地元の野菜を取り入れた料理の紹介を行います。					
事業計画：広報などで地元の野菜を取り入れた料理の紹介					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	12回	12回	12回	12回	12回
実績	12回	12回	12回	12回	—

<b>重点的取り組み2</b>	食を通じたコミュニケーションの推進				
家族や仲間と一緒に食事を楽しむことは、心や体を元気にしてくれます。共食の機会が増えるよう、その大切さを伝えていきます。					
事業計画：教室などで共食の大切さについて啓発の実施					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	30回	33回	35回	38回	40回
実績	25回	30回	30回	30回 <sup>*4</sup>	—

\*4 平成31年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止しています。

## <歯科口腔保健推進計画>

<b>重点的取り組み1</b>	生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化				
妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、妊婦歯科健診を実施します。					
事業計画：妊婦歯科健診受診率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	25%	25%	30%	30%	35%
実績	12.2%	18.9%	16.3%	22.2%	—
データ(人数)	49/402	84/444	65/398	70/316	—

<b>重点的取り組み2</b>	生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実				
生涯を通じた口腔機能の維持改善のため、後期高齢者歯科口腔健診を実施します。					
事業計画：後期高齢者歯科健診受診率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	10%	10%	15%	15% <sup>*5</sup>	20%
実績	1.2%	15.5%	17.2%	15.4%	—
データ(人数)	8/646	124/799	136/792	123/798	—

\*5 平成30年度の実績を踏まえ、平成31年度の目標値は15%から20%に変更して実施しました。

<b>重点的取り組み3</b>	歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築				
歯科口腔保健推進計画の具体的な取り組みを市民と協働で推進していくため、歯科口腔保健推進ボランティア（しろい歯みがき隊）を育成します。					
事業計画：市民と協働で実施する普及啓発活動に参加した市民の数（登録人数）					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	10人	10人	10人	20人	20人
実績	6人	6人	9人	12人	—

### （3）めざそう値の達成状況

第2次プランでは、3つの計画それぞれに、施策の方向性とその具体的な取り組みを位置づけ、各取り組みに対応した合計54項目の「めざそう値」を設定して、計画を推進してきました。

達成状況の判定に当たっては、策定時の値及び「めざそう値」の関係性により、5段階で判定し、一元的に評価しています。

判定	内容
達成	第2次プラン策定時のめざそう値を超えている
改善傾向	第2次プラン策定時のめざそう値には達していないが、現状値が策定時の値を上回り、改善傾向にある
変わらない	第2次プラン策定時の値と現状値の差が±3.0%以内である
悪化	策定時の値よりも現状値が悪化している
—	対象者の変更により、達成状況が評価できないもの

・全体から一部を標本として抽出する調査における標本誤差の考え方を参考にして、調査全体の標本誤差が3%（信頼度95%）であったことから、「策定時の値と現状値の差が±3.0%以内」を「変わらない」としています（策定時の値と現状値が実数の場合を除く）。

## <総括的評価>

各計画の総括的な評価は、「達成」の占める割合が19.6%、「改善傾向」と「変わらない」の占める割合が62.7%、「悪化」の占める割合は17.6%となりました。

計画	施策の方向性	達成	傾改 向善	な 変 わ ら ない	悪 化	小 計	—
健康増進 計画	1. 生活習慣の改善	2	1	3	1	7	0
	2. 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	0	1	4	1	6	1
	3. 生活習慣病の発症予防と重症化の予防	0	0	3	0	3	0
	4. 健康を支え、守るための社会環境の整備	0	0	1	0	1	0
	小計	2	2	11	2	17	1
	割合	11.8	11.8	64.7	11.8	100.0	
食育推進 計画	1. 食と健康づくりの推進	0	0	5	4	9	0
	2. 食を通じたコミュニケーション	2	1	3	2	8	0
	3. 食育を推進するための食環境の整備	0	2	0	0	2	0
	小計	2	3	8	6	19	0
	割合	10.5	15.8	42.1	31.6	100.0	
歯科口腔 推進計画	1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善	2	1	1	0	4	1
	2. 歯科疾患の予防	4	0	2	0	6	0
	3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得	0	0	2	1	3	0
	4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健	0	0	0	0	0	1
	5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備	0	1	1	0	2	0
	小計	6	2	6	1	15	2
	割合	40.0	13.3	40.0	6.7	100.0	
総計		10	8	24	9	51	3
割合		19.6	15.7	47.1	17.6	100.0	

## <健康増進計画>

第2次プランの健康増進計画では、4つの施策の方向性に7つの具体的な取り組み、合計17のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

小学生と中学生で、それぞれめざそう値を設定している項目を合わせた計18項目中、「達成」は2項目、「改善傾向」は2項目、「変わらない」は11項目、「悪化」は2項目、調査対象の変更により達成状況が確認できない項目は1項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した2項目のうち、20歳以上のBMI値が25以上（肥満）の割合については、40歳から59歳の男性と70歳から79歳の女性で前回調査と比較して大きく増加しました。

また、午後10時以降に就寝する小学生の割合が増加しており、生活時間の夜型化の実態が明らかになりました。

また、全体的に策定時の値と現状値を比較して変わらない項目が多く、めざそう値を達成していないことから、今後もそれぞれの取り組みを充実させていく必要があります。

具体的 取り組み NO	項目	策定時 (平成26年度)	現状値 (平成31年度)	策定時の めざそう値	達成状況
1・(1)	運動を週2回している人の割合の増加（20歳以上）	45.1%	45.7%	50%以上	変わらない
	敷地内禁煙にしている市内の公共施設（48施設）の割合の増加	10.4%	100%	100%	達成
	適正飲酒量を知っている人の割合の増加（20歳以上）	48.5%	50.1%	55%以上	変わらない
	たばこを吸っている人の割合の減少（20歳以上）	15.0%	12.5%	13%以下	達成
	睡眠がとれている人の割合の増加（20歳以上）	72.6%	70.6%	75%以上	変わらない
	BMI値が25以上（肥満）の人の割合の減少（20歳以上）	19.8%	24.3%	15%以下	悪化
	過去1年間に歯科健診を受診した割合の増加（20歳以上）	50.8%	57.7%	60%以上	改善傾向
2・(1)	毎日の生活に充実感がない人の割合の減少（20歳以上）	17.8%	20.7%	10%以下	変わらない
	家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を相談できる人がいる人の割合の増加（20歳以上）	64.5%	65.3%	70%以上	変わらない
2・(2)	授業以外の部活動や習いごとで運動をしている子どもの割合の増加（週4日以上）	小学生 18.8%	小学生 19.0%	小学生 23%以上	変わらない
		中学生 66.2%	中学生 調査なし	中学生 75%以上	—
	午後10時以降に就寝する小学生の割合の減少	24.1%	30.8%	20%以下	悪化
2・(3)	ロコモティブシンドロームの言葉や意味を知っている人の割合の増加（20歳以上）	34.0%	43.1%	65%以上	改善傾向
	65歳以上で地域でスポーツ・趣味・娯楽活動をする人の割合の増加	31.7%	32.7%	40%以上	変わらない
3・(1)	大腸がん検診受診率の向上	36.7%	33.8%	50%以上	変わらない
	特定健康診査受診者中のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の抑制	25.5%	28.0%	25%以下	変わらない
	COPDの認知度の向上（20歳以上）	46.2%	48.7%	70%以上	変わらない
4・(1)	地域の人たちとのつながりが強いと思う人の割合の増加（20歳以上）	25.5%	26.4%	30%以上	変わらない

・中学1年生の授業以外の部活動や習いごとで運動をしている子どもの割合の増加は、調査が未実施のため「調査なし」としています。

## <食育推進計画>

第2次プランの食育推進計画では、3つの施策の方向性に7つの具体的な取り組み、合計15のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

小学生と中学生で、それぞれめざそう値を設定している項目を合わせた計19項目中、「達成」は2項目、「改善傾向」は3項目、「変わらない」は8項目、「悪化」は6項目でした。

策定時よりも現状値が悪化した6項目のうち、20歳以上で1日に主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる回数が2回以上の割合や、食事の手伝いをいつも、時々している小学生の割合が特に大きく悪化しました。

また、全体的に悪化や変わらないとなった項目が多く、めざそう値を達成できていないことから、対策を検討する必要があります。

具体的 取り組み NO	項目	策定時 (平成26年度)	現状値 (平成31年度)	策定時の めざそう値	達成状況
1-(1)	苦手な食べ物(野菜)がある子どもの割合(小学生・中学生)	小学生 32.3%	小学生 35.0%	小学生 28%以下	変わらない
		中学生 30.7%	中学生* 31.0%	中学生 25%以下	変わらない
	1日に野菜料理を5皿以上食べる人の増加(20歳以上)	9.4%	9.7%	15%以上	変わらない
	1日に主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる回数が2回以上の割合の増加(20歳以上)	65.1%	59.6%	70%以上	悪化
1-(2)	3食必ず食べることに気をつけている人の割合の増加(30歳代～40歳代)	61.8%	63.1%	65%以上	変わらない
	よく噛んで食べている子どもの割合の増加(小学生・中学生)	小学生 63.5%	小学生 58.6%	小学生 70%以上	悪化
		中学生 54.2%	中学生* 53.9%	中学生 60%以上	変わらない
BMI値が25以上(肥満)の人の割合の減少(20歳以上)	19.8%	24.3%	15%以下	悪化	
2-(1)	減塩や薄味を心がけている人の割合の増加(20歳以上)	60.0%	56.6%	65%以上	悪化
	「共食」の意味を知っている人の割合の増加(20歳以上)	20.5%	26.1%	40%以上	改善傾向
2-(2)	家族と一緒に食事をとる回数の増加(20歳以上)【朝食+夕食】※	週9.1回	週9.3回	週10回以上	変わらない
		食事を残したときに「もったいない」と思う子どもの割合の増加(小学生・中学生)	小学生 90.2%	小学生 89.1%	小学生 93%以上
	中学生 90.3%		中学生* 88.7%	中学生 93%以上	変わらない
	学校給食への地元農産物の利用品目数の維持	13品目	14品目	13品目以上	達成
食事の手伝いをいつも、時々している子どもの割合の増加(小学生・中学生)	小学生 56.7%	小学生 49.4%	小学生 60%以上	悪化	
	中学生 50.2%	中学生* 64.1%	中学生 55%以上	達成	
2-(3)	農作物を購入時、千葉県産、または白井産を選ぶ割合の増加(20歳以上)	35.0%	29.7%	45%以上	悪化
3-(1)	食育の言葉も意味も知っている人の割合の増加(20歳以上)	64.5%	69.3%	75%以上	改善傾向
3-(2)	食に関する指導の全体計画及び年間計画を作成している学校数の増加	10校	12校	14校	改善傾向

\*中学生は、令和2年3月の白井市食育評価アンケートで現状値を把握しました。

## <歯科口腔保健推進計画>

第2次プランの歯科口腔保健推進計画では、5つの施策の方向性に9つの具体的な取り組み、合計17のめざそう値を設定し、計画を推進してきました。

17項目中、「達成」は6項目、「改善傾向」は2項目、「変わらない」は6項目、「悪化」は1項目、調査対象の変更等により達成状況が確認できない項目は2項目でした。

3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合が策定時よりも現状値が悪化しており、中学1年生や20歳以上の調査においても噛んで食べることに关するめざそう値が達成できていないことから、今後もそれぞれの取り組みを充実させていく必要があります。

具体的 取り組み NO	項目	策定時 (平成26年度)	現状値 (平成31年度)	策定時の めざそう値	達成状況
1-(1)	8020運動の言葉と意味がわかる人の割合の増加(20歳以上)	38.4%	43.8%	45%以上	改善傾向
	1歳6か月児で間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	8.9%	9.9%	5%以下	変わらない
1-(2)	中学1年生の昼食後の歯みがき実施生徒の割合の増加	19.4%	調査なし	30%以上	—
	むし歯予防や歯周病予防効果のある歯みがき剤を使用する人の割合の増加(20歳以上)	23.6%	36.1%	30%以上	達成
	1歳6か月児で毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある人の割合の増加	85.8%	90.3%	90%以上	達成
2-(1)	3歳児でむし歯のない人の割合の増加	83.1%	84.2%	90%以上	変わらない
	12歳児のむし歯本数の減少	1.6本	0.81本	1.2本以下	達成
	歯周疾患検診受診率の増加	3.0%	3.0%	5%以上	変わらない
2-(2)	中学生で歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	36.5%	19.7%	25%以下	達成
	誤嚥性肺炎の言葉と意味がわかる人の割合の増加(20歳以上)	52.5%	70.9%	60%以上	達成
	40歳で進行した歯周炎を有する人の割合の減少	50.0%	7.7%	35%以下	達成
3-(1)	3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加	91.7%	87.9%	93%以上	悪化
	中学1年生でよく噛んで食べていると思う生徒の割合の増加	54.2%	53.9%	60%以上	変わらない
	硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合の増加(20歳以上)	61.3%	62.4%	65%以上	変わらない
4-(2)	歯科医療が受けられない難病患者の割合の減少	2.4%	調査なし	1%以下	—
5-(1)	過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加(20歳以上)	50.8%	57.7%	60%以上	改善傾向
	かかりつけ歯科医がある人の割合の増加(20歳以上)	68.2%	68.5%	70%以上	変わらない

・ 中学1年生の昼食後の歯みがき実施状況の調査が未実施のため「調査なし」としています。  
(参考値) 高校1年生の昼食後の歯みがき実施率10.6%

・ 難病患者への調査項目変更により、現状値の把握が困難となった項目について「調査なし」としています。

## (4) 平成31年度自殺対策計画実績報告

平成31年度から市の自殺対策計画に基づく取り組みを開始いたしました。

### 1 自殺死亡率（人口10万対）

現時点で国から提供されている最新のデータが、平成26年から30年の5年間平均で16.8となっており、わずかながら目標に向かって減少しています。しかしながら、現在の数値は取り組み開始前までのデータから算出されていることと、今後、新型コロナウイルスによる生活の変化に影響を受けることが予測され、数値目標を達成するための積極的な取り組みが求められています。

現状 H24～28年平均	実績 H25～29年平均	実績 H26～30年平均	目標 R2～6年平均
17.6	16.9	16.8	12.3以下

出典：自殺統計（警視庁のデータを基に厚生労働省が再集計した自殺統計（自殺日・住居地））

### 2 市が重点的に取り組むべき対象者

こちらは毎年国が分析し自治体ごとに提供される「地域自殺実態プロファイル」から把握したものとなります。

計画策定時は「高齢者」「生活困窮者」の2項目であったものが、平成30年以降「勤務・経営（勤労者・経営者）」が追加されています。

H29年(2017)	H30年(2018)	H31年(2019)
高齢者・生活困窮者	高齢者・生活困窮者 勤務・経営	高齢者・生活困窮者 勤務・経営

出典：地域自殺実態プロファイル

### 3 重点的取り組み

「高齢者」に対する重点的な取り組みとして『高齢者の見守りや相談に関わる人に対してゲートキーパー養成講座を開催し、自殺対策の視点でも支援できる人材を増やす』ため、小学校区単位でのゲートキーパーを養成することとしています。

ゲートキーパー養成講座は30年度から開始しており、2年間で34人を養成しています。31年度の目標は各小学校区で2名以上のゲートキーパーを養成することとしており、達成した小学校区は9小学校区中7小学校区です。

1 高齢者	様々な分野でのゲートキーパー（命の門番）※の養成
高齢者の見守りや相談に関わる人に対してゲートキーパー養成講座を開催し、自殺対策の視点でも支援できる人材を増やします。	
事業計画：小学校区単位でのゲートキーパー（命の門番）の養成	

		平成 31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)	令和 3～7 年度 (2021～2025)
目標	各小学校区の 養成人数(累計)	2 人以上	→	10 人以上
実績	養成者数(累計)	34 人		
	目標を達成した 小学校区数	7 小学校区		

※ゲートキーパー(命の門番)とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

「生活困窮者」に対する重点的な取り組みとして、『経済的・社会的困窮状態からの早期脱却を図るため、専門の相談窓口の紹介や相談者とともにプランを作成するなど、困窮状況に応じて自立に向けた支援を行う』ために、くらしと仕事のサポートセンターの周知及び相談体制の充実を図ることにしています。

平成 31 年度は事業の周知を目標としており、市広報・市ホームページへの掲載、民生委員などの支援者やひとり親家庭など課題を抱える可能性のある家庭へのリーフレットの配布、庁内全課への情報提供を実施しました。

2 生活困窮者		自殺のリスクを抱える可能性のある人への支援		
経済的・社会的困窮状態からの早期脱却を図るため、専門の相談窓口の紹介や相談者とともにプランを作成するなど、困窮状況に応じて自立に向けた支援を行います。				
事業計画:「くらしと仕事のサポートセンター」の周知及び相談体制の充実				
	平成 31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)	令和 3～7 年度 (2021～2025)	
目標	事業の周知	「つなぐシート」の作成		「つなぐシート」の活用・連携
実績	市広報、市ホームページの掲載、民生委員等の支援者、ひとり親家庭へのリーフレットの配布、庁内全課への連携依頼			

## (5) その他の事業実績及びめざそう値の達成に向けた経過

別添資料参照 (A 3 資料)

## (6) 会議等における主な意見の内容について

計画名	主な意見の内容
健康増進計画	・子宮頸がん検診、前立腺がん検診受診率向上の取り組み ・めざそう値達成状況の判定基準及び区分の取り扱い
食育推進計画	・バランスのよい食事や野菜摂取量の向上に向けた取り組み
歯科口腔保健推進計画	・家族でかかりつけ歯科医を持つことへの取り組み
自殺対策計画	・小学校区単位でのゲートキーパー養成の取り組み

